

パソコンによる医療用サージカルテープカッター 「KIRURU」

(株)メディディア (鯖江市)

平成 18~20 年度 技術相談、依頼試験

問合せ先 デザイン推進室



光造形による試作品

背景と経緯

メディディア社長で、現役看護師でもある山本氏は、多くの医療現場でサージカルテープ（包帯などを固定するためのテープ）がポケットにそのまま入れられていることを、不衛生であると常々感じていました。そこで、サージカルテープ用のカッター付き容器を開発することを思い立ち、アイデアを形にする段階で福井県工業技術センターに技術相談しました。そして、コンピュータの3次元データから立体形状のプラスチック部品を作製できる「光造形装置」を用いて試作を繰り返し、取扱い性を向上させるための検討、改良を行いました。平成 18 年 3 月には独立行政法人中小企業基盤整備機構 ベンチャー支援事業 事業化支援事業に採択され、同年 5 月に(株)メディディアを設立、「KIRURU」の製品化へとつながりました。

成果と製品化の状況

製品化された「KIRURU」は、清潔で効率的な処置を可能とする医療用テープカッターです。密閉製の高い容器を使用することでテープを清潔に携帯、保管でき、使用時にテープが取り出しやすく、軽い力できれいにカットできるため取扱い性がよいのが特徴です。デザイン的にも高い評価を得ており、優しい色合いと形状は医療現場の緊張緩和にも効果をもたらしています。

平成 19 年 7 月 販売開始。同年、完成度の高さが評価されグッドデザイン賞を受賞

平成 20 年 1 月 看護系通販の大手会社で大々的に売り出し、全国の病院で使われ始める

平成 21 年 「感性価値創造ミュージアム in KOBE」の出展 61 社の中に選ばれる

今までの医療現場の状態は・・・？



白衣に吊るしたり、ペンと一緒にポケットに入れ不潔な状態に・・・



グッドデザイン賞受賞